

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和3年 5月

事業所名 児童発達支援センターすくすくのびのび園

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	24	1	1	・現在より利用定員が多くなると適切ではなくなる。 ・相談に対するニーズは年々高まっているので利用はゆずりあいつつになる。 ・環境は整っている。 ・子ども一人に対しての広さは十分だと思う。 ・机の出し入れや設定課題に応じ、他室を利用している。	・利用者数、職員数は増えているので部屋の使い方を工夫します。個別の相談、指導の部屋の利用スケジュールは全体で調整しています。
	2	職員の配置数は適切である	13	1	12	・欠員がいる中で他チームと連携しながら行っているが厳しい。人員は年度初めに確保してほしい。 ・クラスからヘルプ要請があれば手伝いに入っている。 ・クラスによっては動きが多いクラスがあるためヘルプが必要と思われる。 ・欠員がいる分はサポートし合いながら行っている。 ・人数はいるが常勤は少ない。 ・計画相談に入れる数を増やしてほしい。 ・スタッフの欠員が出た時はヘルプが入る。 ・クラスに配置されるべき職員数に満たない時期は、フリーの職員・心理職員等の協力で補っていた。しかし負担は年間通して配置数が満たされるのが理想かと思う。	・条件にあった応募者がいないため欠員が続き、見込み通りにはいかない部分があります。臨機にカバーしやすい組織運営を意識してまいります。各クラス、部署から応援要請があればフリー職員や相互の応援で協力しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	23	1	2	・施設の老朽化もあり、一部、至らない部分もある。 ・お子さんに合わせて行っている。 ・床など常にきれいになっている。 ・ロッカースペースと手洗いが近いと思う。 ・児童個人のかごやマーク、視覚支援などを工夫している。 ・エレベーターや手すりがある。 ・限られた部屋の中、仕切り等を使って子どもの実態に合わせて工夫がなされている。	・老朽化やもともと児童用の施設ではなかった点など諸事情はありますが、階段は子ども用ですりを取り付け、安全確保したうえでトレーニングの場として活用するなど、限られた条件で工夫しています。療育環境の構造化等の工夫は継続します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	23	1	2	・髪の毛などが落ちていたりすることがある。 ・施設の老朽化もあり、一部、物が散乱していたり、汚れていたりする部分もある。 ・コロナの件もより一層苦心がけている。 ・毎日清掃されている。 ・消毒等	・厚労省や都、区の指示を守り感染症対策に取り組んでいます。 ・清掃業者と協力し、清潔保持に努めてまいります。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	16	1	9	・チームごとではできていると思うが全体の共通改善には繋がっていない。 ・できている職員とそうでない職員の差が大きい。改善が必要(目標マネージメントが定着していない) ・一部、改善できないことがある。 ・PDCA知らない用語の説明のみ。⇒研修が必要。 ・振り返りをしている。	・限られた業務時間ですが、取り組みについて職員で共有できるような機会を設けてまいります。 ・チーム、個人により受け止め方が異なる点は全体の共有を図ります。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	25	0	1	・評価するだけ。そのままになっている。 ・行っている。 ・全体の場で保護者からの意見を聞き上げ、課題の共有がなされている。	評価結果と改善案を作成し配布していますが、職員内でより周知・共有することに努めてまいります。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	24	0	2	・ホームページには公開しているが、職場内での振り返り、目標設定(改善案)には充分結びついていない。 ・行っている。	評価結果と改善案を作成し配布していますが、職員内でより周知・共有することに努めてまいります。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	25	0	1	・ホームページには公開しているが、職場内での振り返り、目標設定(改善案)には充分結びついていない。 ・行っている。	前回の第三者評価を受け、チーム間のプログラムや職員の技術の共有を課題と位置付けています。このためフリー職員を設ける。教材をチーム間で共有する等の取り組みを行っています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	25	0	1	・研修が心理/療育の職員に限られているように思う。全員に確保できていない。 ・このご時世でもたくさんの研修案内をしてくださり助かっています。 ・今年度はコロナの為なかなか参加できない。 ・職員が自ら子どもへの接し方はこれで良いのか日々振り返ることが必要。療育、専門性以前の問題だと思う。 ・行っている。 ・コロナ対策をしながら今年度も研修を行っていた。今後もこのような機会を継続していけることと良い。 ・今年度は殆どの研修がZOOMを使ってのものだった。区の方針かもしれないが、圏がZOOMに対応していないのは時代遅れである。	・事業があるとなかなか参加しにくい職務もあるため、療育の夏休み等を利用し、園内の研修を充実させるなど全員で共有できるように努めてまいります。 ・特にセラピスト等専門家や経験豊富な職員の知見の活用、実践討論など園の実践に生かせる内容を検討します。 ・ZOOM等情報セキュリティに関連するものは区の基準に沿ってまいります。
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	25	0	1	・きちんと話し合いをもつ。 ・つくるのが難しい。 ・OT、ST、PTなど幅広い視点で分析している。 ・支援計画作成前のミーティングをしている。	・心理職を含めたチームと児発管、各専門家でアセスメントから計画作成、支援、振り返りまで実施しています。作成に伴う難しさもチームとして協力することで改善していききたいと思います。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	19	0	7	・最新のものを利用している。 ・標準化となるよういろいろな目、視点でとらえる。 ・入園の際のインテーク報告は標準化されたアセスメントだが、それ以降活用するツールは整備が必要。 ・発達検査、知能検査。	・計画はチーム内職員と児発管、各種専門家でアセスメントから計画作成、支援、振り返りまで実施しています。チーム外の職員から見えてわからないことがあれば、適宜説明や意見交換を実施します。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	22	0	4		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	24	1	1	・行っている。 ・計画に沿って課題を設定し、保護者と確認をしている。 ・支援計画書を全員目を通していないため今後目を通すようにする。	・限られた時間内ですがどの職種の職員も計画に目を通し支援方法を共有できるようにチームで声を掛け合います。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	23	1	2	・主に常勤が行っている。 ・療育に参加していない為わからない。 ・当日のミーティングや事前のミーティングも行っている。 ・リーダーの力でできることでプログラムを組んでしまいがちになる。⇒子どもの見立てをしっかりとし、子どもの計画に合わせたプログラムを皆で作っていききたい。 ・プログラムの細かい部分、内容についてのツメが甘いことが多々あるので、早め早めの話し合いが必要。	・立案はチーム内職員と児発管等が協力して作成しています。チーム外の職員から見えてわからないことがあれば、適宜説明や意見交換を実施します。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	22	1	3	・チームの力の差を感じます。設定でこのやり方が良かった等情報共有した方がよい。 ・季節や児の様子で変えている。 ・室内運動に関してはマンネリ化しがちなところがある。	チーム間の支援方法等の共有と意見交換を一層進めます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	23	2	1	・個別、集団両方の療育を利用している子は、2つの場面での子の様子を踏まえている。	
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	25	1	0	・確認はひとつのものがなく行う。 ・行っている。		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	24	1	1	・振り返りの時に目をつぶって寝てるのか？と思うことが多々あった。日々振り返りの場は大切だと思うがこういう職員がいると非常に残念で不快になった。 ・気づいたことはその場で解決策を出している。 ・行っている。 ・他の職種の職員が個別に保護者との間でやり取りした内容について、チーム内に話がおろてこないことがあった。	複数の職種の職員でチームを構成するのが当園の強みなので、それを上手く生かすためにも、チーム内の情報共有をより積極的に進めていくよう園全体で取り組みます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	24	1	1	・読み返す時間がない。書く時間をとるのも大変で後回しにしてしまうことが多い。 ・記録は誰が見ても分かるようにしている。 ・行っている。	・前回の第三者評価を受けて書式等改善したところですが、今後も負担は少なく記録、共有ができるよう図ります。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	24	1	1	・「モニタリング」という形式をとっていない。 ・見直しは必ず行っている。 ・「モニタリング」は電話だけでなく、コロナ情勢が許す限り、実際に事業所等に向いて直接子どもの姿を確認している。 ・行っている。	・チーム外の職員にとってわからないことや不十分と見受けられることがあれば、適宜説明や意見交換をまいります。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	24	1	1	・セルフプラン増のためサービス担当者会議が殆どなされない。 ・その子どもの為、保護者の為、状況に合っている。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	26	0	0	・関係者の為により多く情報を得る。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	22	2	2	・施設の対策がきちんと明確にされていないと感じ、担当している職員によって対応が異なる。 ・「広場」事業を設定して話を聞く、PT、OT、STの先生方も入って頂き相談する。	・園外での業務は、担当以外の職員には伝わりにくいので、わからないことや不十分と見受けられることがあれば、適宜説明や意見交換をまいります。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	23	1	2	・連携しているが不十分と思う。 ・体制は常に整えている。	・園外での業務は、担当以外の職員には伝わりにくいので、わからないことや不十分と見受けられることがあれば、適宜説明や意見交換をまいります。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	24	1	1	・情報の共有化を行っている。 ・コロナ下でも電話連絡したり、実際に協議をしたりしている。 ・園訪問、来訪以外は殆どないと思う。	感染症対策のため件数は少なくなっていますが、通園児童の併用園との相互訪問に加え、就学先との連携も必要や希望に応じて取り組んでいます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	23	1	2	・今年度は感染症対策のため無いが、例年特別支援学校進学児と希望する児童の就学先と引継ぎを実施している。 ・わからない。今後行えるようにしたい。 ・理解をし合っている。 ・今年度はコロナの影響で直接やりとりをする時間を作れなかった。⇒資料の送付や定期的なTELでつながりは保っている。	感染症対策のため件数は少なくなっていますが、通園児童の併用園との相互訪問に加え、就学先との連携も必要や希望に応じて取り組んでいます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	16	1	9	・児童発達支援センターとして研修を主宰していて、そこに職員も参加している。 ・コロナの中、出来る限り研修も受けている。 ・無い、時間的に難しい。 ・積極的に計画は立てたが、コロナで各会議が中止となりできなかった。⇒その中でも開催された研修は、参加した職員が全体の場で報告を行い、資料を回覧し、できるかぎり情報が皆にいきわたるようにした。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	11	1	14	・通所されている利用者の多くは、保育所や幼稚園を併用しているため、現在の所は特段、機会を設けていない。 ・多く行っている。 ・ない。 ・交流などはないと思う。 ・すくのみ全体での交流はない。(行事として)	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	18	2	6	・コロナで休みになっている。 ・なるべく参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	22	1	3	・他職種から、保護者とやり取りした内容について報告がなくてチームとして困ることがあった。 ・課題については子どもの為に何が必要なのか伝えあっている。 ・毎回療育のFBを行っている。	保護者との共通理解の前提となる職員間の情報共有確保に一層努めます。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	24	0	2	・ペアトレを希望しても募集人数が少なく参加できていない方がいる。 ・支援は大切に、保護者の為におこなっている。 ・行っている。	・保護者からのニーズと事業所で対応できる範囲や取り組み方を勘案しながら進めています。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	25	0	1	・時間が限られている中でできる範囲で行っている。手紙も活用している。 ・丁寧にわかりやすく行っている。 ・行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	26	0	0	・必ず同意を得てからの支援をしている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	24	0	2	・定期的ではないが必要時は行っている。 ・助言はいろいろなパターンがあるので職員同士で話し合う。 ・定期的に行う面談は年2回(支援計画)それ以外は適宜保護者の相談に応じている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	24	0	2	・なるべく行っている。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	25	0	1	・すぐ対応できるようにしている。 ・行っている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	26	0	0	・園日よりして毎月発行している。 ・発信は行っている。 ・すくのみのおたより。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	26	0	0	・情報セキュリティ研修全員参加 ・パソコン、ケースファイルなど、その日の物は必ず片付ける。 ・行っている。	・倫理研修の場を活用し、園の事業内での具体的リスクを想定し研修を実施しており、今後も継続してまいります。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	26	0	0	・気持ちを汲み取っている。 ・行っている。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	13	2	11	<ul style="list-style-type: none"> ・行事がない。 ・発達支援マルシェの開催 ・今年度はコロナの為できていない。 ・今年度はコロナのことがあり機会が少ない。 ・開かれるように心がける。 ・地域住民の方々がボランティアとして活動している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設開放等の形ではなく、ボランティアの受け入れとして継続しています。感染症対策のため例年より制限がありますが、安全に配慮し継続してまいります。
	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	21	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月防災訓練を行っている。 ・情報事故が起きた時の被害を拡大しない為の手順と報告連絡マニュアルがある。 ・訓練はしているがマニュアルなど見直しが行われていないと感じる。 ・月1回行ったり常に安心、安全で守られているか気を付けている。 ・コロナ対応マニュアル。 ・避難訓練を行っている。 	
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	25	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・参加しないクラスがあったり、防災頭巾をかぶらないなど気になる点がある。 ・行っている。 	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	24	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師が管理している。 ・マニュアルを作成し、保護者と職員に周知してもらっている。 ・確認している。 	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	26	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養士又は看護師が受領、保管 ・対応は適切に行っている。 	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	26	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングでの報告と書面での報告を行っている。 ・常に何かあれば報告を出す。 ・アクシデントがあるとすぐ朝会で報告されている。 ・行っている。 ・事例発生時は全体の前で報告し、改善策まで共有できている。 	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	23	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・研修に参加したり、本を参考にさせていただいている。 ・行っている。 ・夏に全体研修を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度の自己評価により、2年度より研修機会を確保しました。
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	14	1	11	<ul style="list-style-type: none"> ・十分に丁寧に説明している。 ・拘束することがないため。 ・未だ対応事例がない。 ・利用契約の際に了解を得ている。 ・園長より入園オリエンテーションの参加者全員に「子どもに危害を加えるためではなく、子どもを事故から守るものであることを丁寧に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員には新任研修等、保護者にはオリエンテーションで説明していますが、今後も国や都の通知を受けさらに踏み込んで検討してまいります。 	